

2021年5月26日

各位

会社名 SOMPOホールディングス株式会社
代表者名 グループCEO 取締役 代表執行役社長 櫻田 謙悟
(コード：8630 東証第1部)

中期経営計画（2021年度～2023年度）策定のお知らせ

SOMPOホールディングス株式会社（以下、「当社」）は、このたび、2021年度を開始初年度とする「中期経営計画（2021年度～2023年度）」を策定しましたので、お知らせいたします。

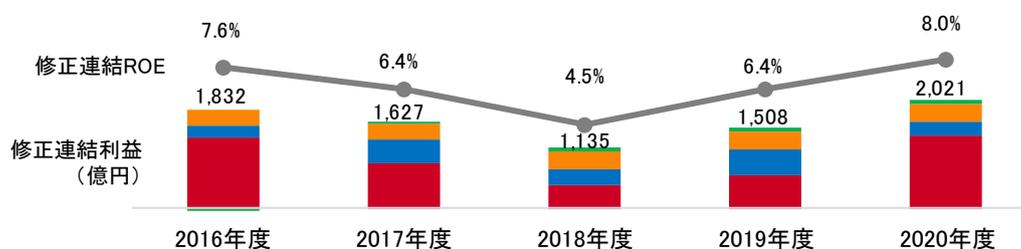
記

1. 前中期経営計画の総括と中期経営計画（2021年度～2023年度）策定の背景

SOMPOグループは前中期経営計画（2016年度～2020年度）において、「安心・安全・健康のテーマパーク」を実現していくための経営基盤の強化に向けて、各事業の優位性強化、デジタル戦略などに取り組み、事業ポートフォリオの変革および企業文化の変革を推し進めてまいりました。

その結果、2020年度の修正連結利益は過去最高となる2,021億円（2020年11月発表の通期業績予想は2,000億円）となり、修正連結ROEは8.0%（同8.5%）となりました。

<前・中期経営計画（2016年度～2020年度）の軌跡>



一方、自然災害の多発や激甚化、国内における少子化・高齢化の進展、テクノロジーの指数関数的進化、さらに新型コロナウイルス感染症の影響が続くなど、世界は大きく変容しています。SOMPOグループは、こうしたVUCA*の時代における変化を適切に捉えながら、グループの経営理念を体現することで、人や社会に常に必要とされる存在であり続けることを目指しております。そこで、当社はこのたび、グループが中長期的に目指す姿や持続的に社会へ提供していく価値を明らかにするため、「SOMPOのパーパス」を明確化して経営戦略の根幹に位置付けることといたしました。

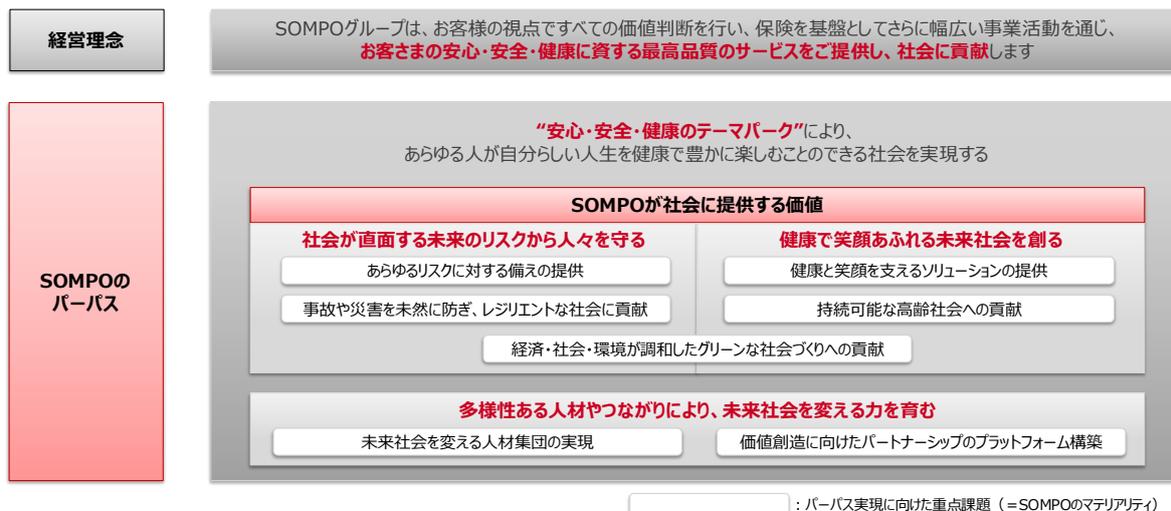
そのうえで、「SOMPOのパーパス」を着実に実現していくために、新たに中期経営計画（2021年度～2023年度）を策定しました。本中期経営計画では、保険や介護など既存事業の自律的な成長の追求、「安心・安全・健康のテーマパーク」を具現化する原動力となるリアルデータプラットフォーム（以下、「RDP」）の構築・ソリューション開発および働き方改革に取り組んでまいります。

*Volatility（不安定性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとったもの。

2. 「SOMPOのパーパス」の概要

SOMPOグループは、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」することを経営理念に掲げております。

この経営理念に基づき、SOMPOグループは「安心」「安全」「健康」を軸に、人や社会を守り、支えるため、中長期的な視点で様々な社会課題に向き合っており、そして、それらの解決に取り組むことで、持続可能な社会に貢献したいと考えております。SOMPOグループは、事業を通じて具体的な価値提供を行い、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現してまいります。これが「SOMPOのパーパス」です。



3. 中期経営計画（2021年度～2023年度）の概要

SOMPOグループは、社会への価値提供を具体的に進め、社会共通の課題であるSDGsも積極的に経営に取り込みながら「SOMPOのパーパス」を実現することを目指して、2021年度を開始初年度とする3か年の中期経営計画（2021年度～2023年度）を策定しました。

（1）中期経営計画の全体像

中期経営計画は、既存事業の収益性を高めて利益の安定化を図る「規模と分散の追求」、リアルデータの利活用等による「新たな顧客価値の創造」、そして、「働き方改革」の3つの基本戦略で構成されております。それぞれの戦略には具体的な戦略と到達目標（KPI）が設定されており、修正連結利益3,000億円以上、修正連結ROE10%以上の達成およびリスク分散効果の発揮、保険の枠組みを超えたソリューションプロバイダーへの進化等に向けて取り組んでまいります。



(2) 基本戦略

①規模と分散の追求

環境変化に耐えうるレジリエンスを獲得するため、保険・介護を中心とした既存事業での収益性向上や顧客基盤の拡大を進めるとともに、規律あるM&Aなども活用したさらなる成長を実現することで、事業ポートフォリオの変革と資本効率の向上を目指します。

②新たな顧客価値の創造

既存事業との親和性の高い重点領域（健康・ウェルネス、モビリティ・プロパティ、デジタル）での新事業開発に注力するとともに、各事業・領域に関するリアルデータを有機的に結びつける新たなプラットフォームとしてRDPを構築し、今までにない価値提供を目指します。

③働き方改革

グループの持続的な成長に向け、社員一人ひとりのやりがいや幸福度の向上、および圧倒的に高い生産性向上を実現するために、3つのコアバリュー（ミッション・ドリブン、プロフェッショナルイズム、ダイバーシティ&インクルージョン）を共有する人材集団の実現を目指します。

(3) 事業別戦略

①国内損保事業

損保ジャパンを中心に、収益構造改革による収益性の向上、マーケティング強化によるトップライン成長およびデジタルトランスフォーメーションや新たなビジネスモデルの創造を進め、グループ最大事業として安定的な利益創出を実現します。

②海外保険事業

Sompo International を中心に、コマーシャル分野を中心としたボルトオンM&Aなども活用したトップライン成長の促進とプライシングの改善による収益性の確保、リテール分野における一元化された経営管理態勢の下でのスキル移転や基盤強化による収益改善を実行します。

③国内生保事業

Insurhealth®を原動力としたトップライン成長を継続し、デジタル/データを活用した商品・販売戦略によりさらなる成長加速を実現します。また、SOMPOひまわり生命に対するファン拡大とブランド認知度向上により、健康応援企業としての確固たる地位を確立します。

④介護・シニア事業

SOMPOケアを中心に、高齢者の生活を支え、健康寿命を延伸することを目指し、テクノロジーを駆使した介護品質や生産性の向上に取り組みます。また、リアルデータやリアルサービスを活用した他の介護事業者や医療・ヘルスケア事業者との連携によるエコシステム構築を推進します。

⑤デジタル事業

世界有数のデータ解析技術を有する米 Palantir 社との提携や国内外のスタートアップ企業等との連携を通じ、RDPを基軸としたソリューションの創出、ビジネスモデルの開発を進めます。

⑥ヘルスケア事業

健康増進や医療の生産性・品質向上を支える予防・未病や、診断・治療領域をカバーする事業を開発し、社内外との共創やリアルな事業基盤とデジタル活用により新たな価値を創造します。

(4) グループ経営数値目標

項目	前中期経営計画	中期経営計画		
	2020年度 (実績)	2021年度 (予想)	2023年度 (計画)	
修正連結ROE	8.0%	7.4%	10%以上	
修正連結利益	2,021億円	2,050億円	3,000億円以上	
(参考)	国内損保事業	1,301億円	1,050億円	1,500億円以上
	海外保険事業	300億円	600億円	1,000億円以上
	国内生保事業	338億円	325億円	400億円以上
	介護・シニア事業等	81億円	75億円	100億円以上
分散効果	リスク分散比率	39.4%	40.2%	2020年度比改善
	海外事業比率 (地域分散比率)	14.9%	29.3%	30%以上
新たな顧客価値創造	長期目標	-	RDP活用によって創出するグループ売上高 : 5,000億円超	
	新・中計期間目標	-	RDP活用商品・サービスの外販・収益化 : 2事業以上	

<参考URL>

- IRミーティング資料・新中期経営計画 (2021~2023年度)
URL : <https://www.sompo-hd.com/-/media/hd/files/doc/pdf/ir/2021/20210526.pdf>
- 中期経営計画 (2021~2023年度) 紹介ムービー
URL : <https://youtu.be/gBZLmMFHAXw>

以上